

経営戦略収支計画と平成31(2019)年度予算(案)との関係

会計名：工業用水道事業

(単位：百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

		平成31(2019)年度		差額	理由	
		計画額	予算額			
計 画 業 務 量	年間基本供給水量(単位：千m ³)	9,300	8,984	▲ 316	・平成29年度から基本供給水量の減	
	年間実供給水量(単位：千m ³)	5,700	5,651	▲ 49		
収益的 収 支	収入	料金収入	508	494	▲ 14	・供給水量の減
		その他収入	121	311	190	・受託事業(配水管移設工事)の追加
		(計)	629	805	176	
	支出	人件費	53	49	▲ 4	
		減価償却費	222	220	▲ 2	
		修繕費	26	49	23	・配水池流出弁室配管等修繕工事の追加
		その他支出	230	416	186	・受託事業(配水管移設工事)の追加
		(計)	531	734	203	
	経常損益		98	71	▲ 27	
	資本的 収 支	収入	借入金	0	0	0
その他収入			10	10	0	
(計)			10	10	0	
支出		建設改良費	198	92	▲ 106	・中央監視制御装置更新工事費用等の減
		借入金償還金	62	83	21	・一般会計長期借入金償還額の増
		その他支出	4	4	0	
		(計)	264	179	▲ 85	
差 引		▲ 254	▲ 169	85		

工業用水道事業〔企業局 経営戦略実施計画〕

項目	取組	平成31(2019)年度の取組予定
工業用水の安定供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	▶中央監視制御装置更新工事(平成30(2018)年度～平成32(2020)年度継続費)
	○水質検査結果等の情報発信	▶水質検査結果公表
	○施設防護対策等の充実	▶浄水場等機械警備業務委託(平成29(2017)年度～平成33(2021)年度)
新規需要の開拓	○工業用水ニーズの情報収集	▶需要拡大検討班会議を開催 ▶受水企業訪問 ▶関係機関との情報交換
	○新たな受水企業の誘致活動	▶キリンビール工場跡地PR ▶新規企業への営業活動 ▶芳賀工業団地第2地区配水管詳細設計業務委託(平成30(2018)年度～平成31(2019)年度)
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	—
	○耐震化への取組	▶配水管路劣化診断業務委託 ▶管路施設耐震化等検討会
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施
	○応急復旧体制の強化	▶水道事業等BCP導入検討会
	○災害対応強化	▶管路施設管理GISシステム整備
経営基盤の強化	○適正な料金設定	—
人育	材成 ○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加 ▶資格取得の支援 ▶OJT実施による技術継承
環境対策	○高効率・省エネルギー機器の導入	▶照明のLED化を実施
	○浄土発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用

平成30(2018)年度の取組状況(12月31日現在)	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ▶中央監視制御装置更新工事(平成30(2018)年度～平成32(2020)年度継続費) ▶設備更新等長期計画策定検討会(平成29(2017)年度～平成30(2018)年度) 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査結果公表 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水場等機械警備業務委託(平成29(2017)年度～平成33(2021)年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場、取水場の警備体制強化のため、機械警備を引き続き実施
<ul style="list-style-type: none"> ▶需要拡大検討班会議を開催 ▶受水企業訪問 ▶関係機関との情報交換 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶キリンビール工場跡地PR ▶新規企業への営業活動(平成30(2018)年9月から1社へ給水開始) ▶芳賀工業団地第2地区配水管詳細設計業務委託(平成30(2018)年度～平成31(2019)年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域整備課の営業活動時にパンフレット配布 ・地域整備課の予約分譲と連携して工業用水のPRを行う。
<ul style="list-style-type: none"> ▶設備更新等長期計画策定検討会(平成29(2017)年度～平成30(2018)年度) 	
<p style="text-align: center;">—</p>	<p>平成30(2018)年度に可とう管修繕工事を予定していたが、変位量が少なく未実施とした</p>
<ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練を実施 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶水道及び工業用水道施設の事故・故障対策に関する検討会 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設管理GISシステム構築業務委託 	
<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28(2016)年度に鬼怒工業用水道事業の料金見直し〔料金期間:平成29(2017)年4月から平成34(2022)年3月まで。基本料金単価:49.39円/m³、使用料金単価:8.96円/m³(単一料金換算55.15円/m³)〕 ・受水企業の定着を図るため、一部、基本供給水量の減量を実施
<ul style="list-style-type: none"> ▶日本水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加 ▶資格取得の支援 ▶OJT実施による技術継承 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶照明のLED化を実施 	
<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水発生土の有効利用 	

管路施設管理GISシステム整備について

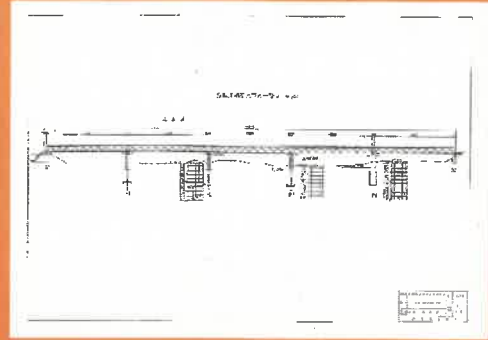
目的：災害時に被災状況の確認が迅速化

効果：現場で施設情報等を登録し、厚生労働省で進めている
水道施設台帳の電子化促進に対応

現場



電子地図上に
管路施設の位置を表示



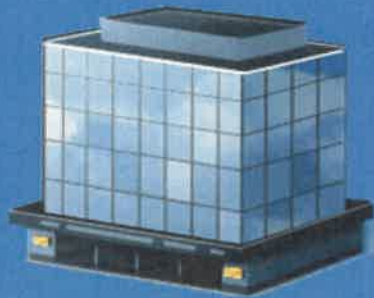
施設竣工図等を確認



現場の状況を
撮影・報告

橋渡し

事務所



対策・指示など



すぐに共有



現場と事務所の橋渡しをするツールです

GIS：地理情報システム (Geographic Information System)